



2021年7月15日

各 位

会社名： アサヒ衛陶株式会社
代表者名： 取締役社長 石橋 孝広
(コード番号： 5341 東証第二部)

問合せ先： 取締役 企画管理部長 丹司 恭一

電話番号： 06-7777-2067

第2四半期業績予想と実績の差異及び通期業績予想の修正に関するお知らせ

2021年1月19日に公表いたしました2021年11月期第2四半期(累計)連結業績予想と実績との間に差異が生じたので、お知らせいたします。

また、最近の業績動向を踏まえ、2021年11月期通期連結業績予想について、下記の通り修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 2021年11月期第2四半期(累計)連結業績予想と実績との乖離(2020年12月1日～2021年5月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する四半 期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想(A)	百万円 950	百万円 △10	百万円 △15	百万円 △15	円 銭 △6.57
今回発表実績(B)	891	6	20	29	9.78
増減額(B-A)	△59	16	35	44	
増減率(%)	△6.2	—	—	—	
(ご参考)前第2四 半期実績 (2020年11月期第2 四半期)	1,097	35	29	21	10.57

2. 2021年11月期通期連結業績予想数値の修正(2020年12月1日～2021年11月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する当期 純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 2,030	百万円 40	百万円 35	百万円 25	円 銭 10.96
今回修正予想(B)	1,800	10	20	20	6.59
増減額(B-A)	△230	△30	△15	△5	
増減率(%)	△11.3	△75.0	△42.9	△20.0	
(ご参考)前期実績 (2020年11月期)	2,002	18	13	17	7.56

3. 第2四半期(累計)連結業績予想と実績との乖離理由

売上高については、国内事業は前回発表予想と比して大きな乖離は生じていないものの、海外事業が新型コロナウイルス感染症による工事工程の変更・コンテナ不足による出荷遅れ及びミャンマーにおける軍事クーデターの影響等により、計画を大きく下回る事となったことから、実績が前回発表予想を下回っております。

一方、利益面については、海外事業は上記の売上高の低迷に伴う利益の悪化が生じたものの、国内事業において経費の削減が進んだこと及び2021年4月27日に公表しましたとおり、短期売買利益受贈益を特別利益に計上したことから、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益の実績が前回発表予想を上回っております。

4. 通期連結業績予想修正の理由

国内事業については、便器製品及びPICCOLA SANITARY UNITの販売が当初の計画を下回ると見込んでおり、また、海外事業については、引き続き新型コロナウイルス感染症による工事工程の変更及びミャンマーにおける軍事クーデターの影響等により低迷が続くと見込んでいることから、売上高・利益ともに、前回発表予想を下回ると想定しております。

※上記の業績予想はつきましては、現時点で入手可能な情報に基づき当社で判断したものです。

予想には様々な不確定要素が内在しており、実際の業績はこれらの予想数値と異なる場合があります。

以 上